

- 上越市 -

上越市立上越体操場「ジムリーナ」建設

1. はじめに

建設地である上越市大潟区には、地域を挙げて体操の普及に取り組んできた歴史がある。「ジムリーナ」は“体操のまち上越”として、総合的な体操競技の発展はもとより、様々な運動の基礎能力の向上に適した体操を通して、市民の健康増進や生涯スポーツの充実を図るとともに、大会や合宿等の誘致拡大による県内外との人的交流を促進させ、まちの活性化を図ることを目的に整備した施設である。

2. 「ジムリーナ」建設の概要

1) 建設スケジュール

平成27・28年度 基本設計

平成29年度 実施設計

平成30年6月～令和元年11月 建設工事

令和2年1月26日 開館

同日 完成記念式典・イベント

2) 建築概要

用途	体育館・観覧場
構造・階数	鉄骨造 地上2階
建築面積	2,896.84㎡
延べ床面積	3,812.00㎡
1階	体操場（アリーナ）40m×42m 器具庫3室・事務室 更衣室・シャワー室
2階	ランニングコース 180m 多目的室3室（一体利用可能） 会議室3室（一体利用可能）

3. 施設の特徴

最大の特徴はアリーナを構成させた構造で、建物中央部に梁成6.5mのスーパーフレームによるキール梁を架け、全体操競技に対応可能な天井高さ14mの大空間を実現した。また、見上げる事が多い競技において、グレアを最小限に抑える為、キール梁付近へのLED照明器具の集中配置を行ったほか、滑り止め用の炭酸マグネシウム粉末の飛散、新体操のリボン競技等への影響を考慮し、気流が発生しない輻射式冷暖房設備を採用とした。



上越体操場「ジムリーナ」外観

4. 「東京2020オリンピック」への関わり

令和3年7月にドイツのホストタウンとして、東京大会に出場する男女体操チームの直前合宿を受け入れ、国際レベルの練習環境との高い評価を受けたほか、コロナ禍を踏まえた市民との交流を行った。



「ジムリーナ」で直前合宿をしたドイツ体操チーム

5. おわりに

工事中はオリンピック需要による職人や資材不足による作業の遅れが懸念されたが、受注者、監理者を含めたチーム「ジムリーナ」で知恵を出し合い、現場での創意工夫でこの困難を乗り越えることができた。この経験を今後につけていきたい。

上越市 都市整備部 建築住宅課 営繕室 おさだ としのり 長田 敏典